

農業経営者向け

農福連携研修会（一般コース）のご案内

農福連携とは、障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組であり、「農業における労働力確保」及び「障害者等の就労先確保」の課題解決と利益（メリット）があるWin-Winの取組です。

本研修会では、農業現場における障害者受入に係る具体的な注意点等を学び、障害に対する理解促進と支援技術の向上を図ることを目的としています。すでに農福連携に取り組んでいる方、これから取り組んでみたい方、関心のある方など、たくさんのご参加をお待ちしています。

日時 第1回 令和5年7月7日（金）13：00～16：00
第2回 令和5年7月18日（火）9：00～15：00

会場 兵庫楽農生活センター学校管理棟A研修室及び芦田農園ほ場（センター内）
※アクセスは裏面参照（神戸市西区神出町小束野30-17 TEL：078-965-2651）

定員 50名（農福連携を検討中の農業経営者の方、全2回参加できる方を優先）

締切 令和5年6月23日（金）

対象 農業経営者、農協・農業団体職員、県・市町職員、農業高校教諭等

申込み 裏面参加申込書で、ひょうご農林機構までメールまたはFAXでお申込みください。

主催 兵庫県、公益社団法人ひょうご農林機構

協力 特定非営利活動法人兵庫セルフセンター

カリキュラム等（一般コース 2日間）

日程	内容
7月7日（金）	1 オリエンテーション 2 農福連携とは 3 障害者の就労について
7月18日（火） 講師：豊田正博氏	4 農作業分析実習① 5 農作業分析実習②（ほ場） 6 障害の理解と支援方法

●一般コース参加者の中から、具体的な農福連携に取り組む意向のある方向けに、**実践コース**（10/20、10/27、11/21 計3回開催）の募集を別途行います。

講師プロフィール

- 兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 教授
- 兵庫県立淡路景観園芸学校 園芸療法課程 主任景観園芸専門員



<主な研究・実践・資格・著書等>

- ・農福連携 農林水産省主催農福連携技術支援者育成研修講師（R2～）
農林水産政策研究所との連携研究

（1）農作業が心体や生産性向上へ与える効果

（2）水耕栽培作業の継続が従事者の前頭前野に与える影響

- 兵庫県農福連携支援アドバイザー（H28～）

- ・園芸療法 認知症予防、緑を活用したストレス軽減
日本園芸療法学会認定上級園芸療法士

- ・著書 2022年改訂版 農福連携 人と作業のマッチング・ハンドブック

豊田正博氏

農業経営者向け農福連携研修会参加申込書締切：令和5年6月23日(金)
FAX：078-361-8128 Mail：furusatomura@forest-hyogo.jp

ふりがな			年 齢	
氏 名				才
所 属	(農業経営者の方は法人名、団体の方は所属名等の記載をお願いします)		職名 (代表、職員等)	
住 所	〒 -			
連絡先	電話(勤務先等)	E-mail		
研修で特に学びたいこと	(自由記載)			
注意事項	※第2回目7/18(火)は、ほ場での実習があります。長靴と軍手をご持参ください。 ※その他、研修に際し配慮が必要な事項等がございましたら、ご記入ください。↓ ()			
●下記は農業経営者の方のみご記入願います。				
主要経営作物	(当てはまるものに○をご記入願います) ア 水稻等土地利用型作物 イ 施設野菜 ウ 露地野菜 エ 花き オ 果樹 カ その他			
主な経営品目及び面積	作物名	面積(a)	作物名	面積(a)
	作物名	面積(a)	作物名	面積(a)
現在の農福連携状況	ア 通年で障害者を雇用している。(具体的内容) イ 臨時で障害者を雇用している。(具体的内容) ウ 作業の一部を障害者に委託している。(具体的内容) エ 検討中である。			

注：ご連絡頂いた個人情報、農福連携研修会に係る連絡や今後の農福連携事業の推進に活用します。

会場へのアクセス



車をご利用の場合

- ・玉津ICより国道175号を北へ20分
- ・三木/小野ICより国道175号を南へ20分

バスをご利用の場合

- ・JR明石駅から神姫バス(三木社方面行き)を利用し、「老ノ口」で下車、徒歩15分
- ・地下鉄西神中央駅から神姫バス(三木行き)を利用し、「老ノ口」で下車、徒歩15分
- ・神鉄三木駅から神姫バス(明石駅、西神中央駅行き)を利用し、「老ノ口」で下車、徒歩15分